



# 秋田大学 (秋田県)



秋田の豊かな自然と風土の中で日本語と日本文化を体験的に学ぶ

## ■大学紹介

### ① 大学の特色及び概要

秋田大学は、国際資源学部、教育文化学部、医学部、理工学部の4学部（研究科を除く）からなる総合大学で、約5,000人の学生が学んでいます。

日本語・日本文化研修留学生を受け入れる教育文化学部の歴史は古く、今日まで120有余年にわたり教員養成と地方文化の拠点として幾多の人材を教育、学芸、文化の各方面に送り出してきました。



### ② 国際交流の実績

2020年10月1日現在、大学間協定を62大学（30か国・地域）と結び、留学生の受け入れや日本人学生の派遣などを活発に行っています。

### ③ 過去3年間の受け入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受け入れ実績

2020年：留学生数224人、日研生1人  
2019年：留学生数262人、日研生3人  
2018年：留学生数238人、日研生2人

### ④ 地域の特徴

秋田県は、世界自然遺産である「白神山地」、日本一の深さを誇る湖「田沢湖」などがあり、自然の美しさに溢れた地域です。自然豊かな山に囲まれ、各シーズンを通して、登山や温泉などを楽しむことができます。

秋田市は秋田県の県庁所在地で、東北に位置し、人口は約30万人、東北の主要都市の一つです。

「かんとう」「なまはげ」「かまくら」などの伝統的な行事が数多く受け継がれているほか、小京都と呼ばれる「角館」など、史跡も数多く、そこでは人々のあたたかさに触れることができます。



秋田犬



田沢湖



夏：かんとう祭り



冬：かまくら祭り

## ■研修・コースの概要

### ① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

### ② 研修・コースの特色

秋田大学日本語・日本文化研修プログラムは、日本の大学での勉学に必要な日本語能力を習得し、秋田地域独自の視点から日本文化を理解・研究するためのプログラムです。

#### ●「日本語」授業

講義を理解してノートを取り、試験やレポートを書ける、ゼミなどで専門的な討論に参加し自分の意見を発表できる、交友を広げるための異文化コミュニケーション能力の技能習得等をめざします。

#### ●「日本文化」授業

最大の特長は、全て日本人学生と共に受講することができる点です。秋田の文化を深く知ることをめざした「日本文化入門」などの学生参加型授業だけでなく、日本語の古典の思想について古典文法の知識がなくとも学ぶことのできる「日本の古典文学」など専門的知識を学ぶこともできます。

#### ●「課題研究」

「日本語」および「日本文化」授業で学んだ成果と、秋田・日本での生活経験から得た問題意識を研究レポートとしてまとめる「課題研究」を必修としています。「課題研究」では少人数でじっくり考えながら研究テーマを決め、それぞれの受講生にあった研究方法を教員が助言します。

### ③ 受入定員

4名（大使館推薦2名、大学推薦2名）

**④ 受講希望者の資格、条件等**

- ・ JLPT : N2保持が望ましい
- ・ やや高度な文法・漢字(1,000字程度)・語彙(6,000字程度)を習得し、日常生活についての会話ができ、読み書きできる者が望ましい。
- ・ 外国の大学で日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在籍し、日本語を600時間程度学習し、中級日本語コースを修了した者が望ましい。

**⑤ 達成目標**

- ・ 日本語学習  
日本語で学術的内容のレポートを作成し、その内容について口頭で発表でき、また質疑にも日本語で答えられる能力の習得を目指します。  
これは、日本語能力試験1級(N1)合格相当にあたりますが、自分の問題意識を他者に伝えるための日本語能力習得を重視します。

・ 日本文化学習

一般的な日本文化理解にとどまることなく、日本人と合同の授業やさまざまな課外活動の経験、また秋田県での日常生活を通じ自らの課題を見つけ、それに基づいて、日本文化とは何か、秋田の文化とは何かを考察できるようになる地点をめざします。

**⑥ 研修期間(在籍期間)**

2021年9月27日 ~ 2022年8月中旬

**⑦ 奨学金支給期間**

2021年10月 ~ 2022年8月

**⑧ 研修・年間スケジュール**

- 9月下旬： 渡日  
オリエンテーション  
授業開始
- 11月： 秋田の農家民泊体験
- 12月： もちつき
- 1月： 留学生寮周辺町内会との交流事業
- 2月： スキー体験
- 5月： 秋田の農家民泊体験
- 6月： 留学生寮周辺町内会との交流事業
- 8月： 修了パーティ
- 8月下旬： 帰国

**⑨ コースの修了要件**

- 修了要件：  
コース期間中、日本語・日本文化科目を各セマスター7コマ以上受講し、課題研究の小論文を提出すること
- 修了証書の発行：期間修了時(2022年8月予定)

**⑩ 研修・コース科目の概要・特色**

1) 研修・コース科目の特徴

日本語と日本文化に関するクラスを中心に受講し、論文作成指導を受け、最終的には各自のテーマに基づき日本語で論文作成を行います。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目(○90分×15回)・内容

課題研究	日本語・日本文化科目での学習、および秋田での生活を通して発見したことに基づき論文を作成する。
------	--

II) 選択必修科目(○90分×15~30回)・内容

日本語4 - I/II	大学生活に必要な会話能力および漢字を身につける。
日本語4 - III/IV	大学生活に必要な読解能力を身につける。
日本語4 - V/VI	中級レベルの文法・語彙・表現の運用能力を総合的に高める。
日本語5 - I/II	論文やレポートなどの高度な書き方を習得する。
日本語5 - III/IV	日本語によるプレゼンテーション能力を身に付ける。
日本語5 - V/VI	大学の勉学や就職に必要な発表の技法を身に付け、口頭表現力を向上させる。
日本語5 - VII/VIII	上級レベルの文法・語彙・表現の運用能力を総合的に高める。
日本語5 - IX	日本語でさまざまなスタイルの文章を書く。
日本語5 - X	論文の読解の仕方を学ぶ。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

※選択科目(○90分×15回)

多文化コミュニケーション入門 I/II	農家民泊を通して秋田のグリーンツーリズムについて理解する。
多文化間交流論 I/II	日本人学生と討論し、コミュニケーション力を向上させる。
社会教育課題研究	まちづくりに関し地域での現地調査を行い、研究成果を発表する。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

※選択必修科目又は選択科目(○90分×15回)

日本文化入門 I/II	日本や秋田の文化について学ぶ。
日本の古典文学	古典文学を通し、日本文化の背景について理解を深める。
日本文学概論	近代日本文学史を学び、主な近代文学の作品を読む。
日本語教育学入門 I/II	日本語教育学の歴史的背景、日本語教育観、評価観の現状に関して考察する。
日本語文化論	日本語文法に潜む盲点について、助詞の問題を中心に、具体例に沿いながら、分析・検討する。
日本の近代文学	長編小説を10回に分けて精読する。
日本社会入門 I/II	秋田と日本の様々なマイノリティグループの現状を調査する。
スポーツ実習	サッカー 柔道

他にも様々な授業が用意されています

## ⑪ 指導体制

高等教育グローバルセンター専任教員  
市嶋 典子 准教授  
E-mail: [ichis@gipc.akita-u.ac.jp](mailto:ichis@gipc.akita-u.ac.jp)

高等教育グローバルセンター専任教員  
浜田 典子 助教  
E-mail: [mhamada@gipc.akita-u.ac.jp](mailto:mhamada@gipc.akita-u.ac.jp)

高等教育グローバルセンター専任教員  
袁 曉犇 助教  
E-mail: [xbyuan@gipc.akita-u.ac.jp](mailto:xbyuan@gipc.akita-u.ac.jp)

## ■ 宿 舎

### ● 留学生用宿舎等（単身用）

- ① 留学生会館（27室）
- ② 国際交流会館 A棟（10室）
- ③ 国際交流会館 B棟（18室）

※室数が限られているため、希望者全員が希望の宿舎に入居できるとは限りません。宿舎に入居できない場合は、秋田大学生協を通じてアパートを探すことができます。

### ● 過去3年間の日研生の宿舎入居状況

- ・ 2020年度 留学生会館3人
- ・ 2019年度 留学生会館3人
- ・ 2018年度 留学生会館2人

### ● 宿舎費（単身用・月）

①②5,900円 ③15,000円

（ガス・水道・電気などの光熱費は含まない）

### ● 各個室の設備等

ユニットバス・トイレ、冷蔵庫、キッチン、ベッドなど。各部屋にエアコンも完備。

※ふとん、食器などは各自用意願います。

● 通学時間：①徒歩15分 ②③徒歩5分

### ● 参照ホームページ

[www.akita-u.ac.jp/honbu/inter/in\\_guide.html](http://www.akita-u.ac.jp/honbu/inter/in_guide.html)



留学生会館



国際交流会館

## ■ 修了生へのフォローアップ

・ 研究レポートを日研生用のウェブサイトに掲載し、他の研究者から問い合わせがあった場合は、速やかに修了生に連絡して、研究の進展を支援しています。

・ 研究レポートを卒業論文作成へとつなげるために、帰国後も「課題研究」担当教員が卒業論文執筆援助を行います。

・ Facebookを活用し情報提供を行います。

・ キャリアパスの例

- 1) 母国の出身大学に就職し、日本語教育の仕事に従事
- 2) 日本の大学院に進学
- 3) 日本企業に就職
- 4) 母国の日本国大使館に就職

## ■ 問合せ先

<担当部署>

秋田大学国際課留学生交流・支援担当

住所： 〒010-8502

秋田県秋田市手形学園町1番1号

TEL： +81-18-889-2258（直通）

FAX： +81-18-889-3012

Email： [ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp](mailto:ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp)

<ウェブサイト>

秋田大学国際交流：

[www.akita-u.ac.jp/honbu/inter/](http://www.akita-u.ac.jp/honbu/inter/)

秋田大学：

[www.akita-u.ac.jp/](http://www.akita-u.ac.jp/)



もちつき



スキー体験



農家民泊